

お店てくてく介護予防

歩行器兼用カートで訓練 県内初

買い物を楽しみながら心も体も健康になりませんか。商業施設での買い物を通じて高齢者に必要なウォーキングなどの機能訓練を行う介護予防サービスが11月1日、沖縄市内で始まる。島根県の企業「ショッピングリハビリカンパニー」の手法を取り入れたもので沖縄県内初導入。自宅までの送迎付きで、「買い物難民」を解消する狙いもある。増加する高齢者の健康維持が課題となる中、新たな取り組みとして注目を集めそうだ。

(社会部・下里潤)

来月から沖縄市「ユースフル」

新たにサービスを始めるのは沖縄市の介護事業者「ユースフル」(我如古純世代表)。「ショッピングリハビリ@沖縄シテイ」と題し、老化に伴い体力が低下するフレイル(虚弱)状態の高齢者らを対象に、自宅から商業施設までを送迎。生活に欠かせない、慣れ親しんだ買い物を楽しくしてもらうことで、商品の選別や金銭の支払い、店員とのコミュニケーションなどを通じて身体と認知機能の向上を目指す。

看護師から健康チェックを受けた後、歩行器とショッピ



買い物難民解消も目標

ングカートを独自に組み合わせた専用の「楽々カート」を使用する。体を支えられるため、足腰に不安を抱えていても転倒の恐れが少ないのが特徴だ。1回当たり3千歩を歩くことを目標にする。

定期的な同じ商業施設で買い物続けることで高齢者の心身の変化も観察。作業療法士や理学療法士が個々に応じた自立支援プログラムを提供する。

当店は沖縄市のマックスバリュ高原店で実施予定だが、今後は市外の大型商業施設などでも展開したい考えだ。

我如古代表は「高齢者の転倒事故が増える中、楽しみながら健康になれる方法を模索してきた。地域も介護従事者も商業施設もみんなが笑顔になれば」と意気込んだ。

介護保険適用(1割負担)で1回当たり400〜500円。問い合わせは同社、電話098(987)8079。

専用の「楽々カート」を手に「買い物でリハビリを楽しんでほしい」と話すユースフルの我如古純世代表(24日、沖縄市内)